

診断士にいがた SOUP LETTER

発行／一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

第 21 号／令和元年 9 月

URL <http://www.n-smeca.jp/>

TEL 025-378-4021

FAX 025-378-4022

「中小企業診断士の日」と

「中小企業経営シンポジウム in 新潟」

一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

会長 土田 正憲



令和という新たな元号のもと会長2年目を迎えた土田正憲です。

中小企業支援機関、金融機関の皆さまには、日頃より当協会にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今日は「中小企業診断士の日」と「中小企業

経営シンポジウム in 新潟」についてお話ししたいと思います。

「中小企業診断士の日」が平成28年に制定されました。11月4日です。70年前(昭和23年)のこの日、中小企業庁より「中小企業診断実施基本要領」が制定され、「中小企業診断制度」が発足しました。中小企業診断協会(連合会)は、ブランディング戦略として、11月4日の前後一週間程度の期間において、各都道府県の診断士協会で中小企業診断士をPRする「中小企業診断士の日」のイベントの開催を推進しています。当協会では、「中小企業診断士並びに当協会の認知度の向上」を事業方針に掲げており、その一環として、昨年度は「中小企業経営シンポジウム in 新潟」を開催しました。今年度もさらに内容を充実させてこのシンポジウムを開催いたします。

以下、開催概要です。

「中小企業経営シンポジウム in 新潟」開催概要

日 時：令和元年11月13日(水)

基調講演 14:05~15:35

分科会 15:45~16:30

会 場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

参加費：無料

対象者：企業経営者、支援機関、金融機関

定 員：100名

申込締切日：令和元年11月1日(金)

申込・問合せ先：

(一社)新潟県中小企業診断士協会

電話：025-378-4021

Eメール：office@n-smeca.jp

※シンポジウム終了後、懇親会を開催

(当日参加費を徴収)

◆ 基調講演

○テーマ：MUJIが生まれる『思考』と

『言葉』～ 幸せな経済に向かって～

○講 師：株式会社良品計画

代表取締役会長 金井政明氏

◆ 分科会1

○テーマ：なぜ、経営改善は進まないのか？～ 売

上偏重、どんぶり勘定からの脱却～

○講 師：企業再生支援研究会 上村 修会員

◆ 分科会2

○テーマ：マーケティングで中小企業の

売上アップを実現する

○講 師：今井進太郎会員

◆ 分科会3

○テーマ：これだけは押さえておこう！

事業承継成功の秘訣

○講 師：事業承継研究会 平野康晴会員

このシンポジウムにご参加いただくと中小企業診断士と当協会のことをこれまで以上にご理解いただけたと思います。ご多忙とは存じますが、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。たくさんの方々が朱鷺メッセに集うことを心より楽しみにしています。

協会活動報告

令和元年度 第1回 理論政策更新研修

研修委員会

2019年8月31日に新潟グランドホテルにて「第1回 理論政策更新研修」を実施しました。

■テーマ1：新しい中小企業政策

新潟県産業労働部産業政策課の平澤淳氏から「新潟県が実施する中小企業施策について」と題し、ご講演を頂きました。新潟県経済の概況の他、「起業・創業の推進」、「意欲ある企業等への支援」、「成長産業の創出・育成」の各方針を実現するための施策について、詳しくご説明頂きました。県内の中小企業・小規模企業は、2年間（H28とH26の比較）で4,363社減少し、その殆どが、小規模企業であるという説明が強く印象に残りました。

■テーマ2：地域資源を活用した中小企業支援

えちごトキめき鉄道株式会社 取締役営業部長の石黒孝良氏から「地域資源を活用した えちごトキめきリゾート「雪月花」の開発」と題し、また、株式会社イチバンセン 代表取締役の川西康之氏から「デザインを通じて地域資源の活用を考える」と題して、ご講演を頂きました。石黒氏は「お客様の求めるものは多種多様であるため、お客様との日頃のコミュニケーションやニーズに備えた事前準備が大切」と説かれたほか、鉄道管内の将来推計人口データ等から「リゾート列車・雪月花」誕生の背景や上越地方の観光や地域振興のシンボルとして地域資源を絡めた企画・取組等をご紹介頂きました。「雪月花」の車両デザイナーである川西氏は、新潟県にしかない・新潟県製の車両作りや車内移動が可能という鉄道の特徴を生かした空間作りの説明を通して、地域資源を活用する際の視点（～だからこそその価値に目を向ける）を教えてくださいました。デザインは「色やカタチや模様ではなく、課題解決の手段の一つ」、デザイナーは「未来のユーザーの代弁者」、「誰のための仕事なのかの明確化」というメッセージが印象的でした。

広報活動の取組について

広報委員会

いつもお世話になっております。広報委員会では、メインの活動が広報誌の発行にとどまっておりますが、令和元年度は6名体制（広報誌担当：2名、ホームページ担当：2名、パンフレット担当：1名、総括：1名）となり、組織的に委員会活動を行えるようになりました（土田事務局長、長谷川青年部会長、メンバーの声掛けにご尽力頂きありがとうございます！）。そこで、本年度の具体的な活動についてご報告申し上げます。

<具体的な活動（現在進めているもの）>

■会報の内容の充実

外部広報として中小企業診断士の認知度向上に資する企画、会員個人のパーソナリティーにフォーカスした企画をこれからも考えていきます。

■ホームページによる情報発信の強化

ホームページ上にブログ欄を設け、研究会（企業再生支援研究会・事業承継研究会）、診断士になりたい人を支援する会、青年部会が各所属メンバーへの案内や情報、告知事項をタイムリーに発信できる場を設けます。

■会員名簿のリニューアル

ホームページ上の「会員診断士の紹介」欄を充実していきます。第一弾として、新規登録・更新の希望をとり、8月末に情報更新をしました。先日ご案内をさせて頂きましたが、今後は、情報更新のタイミングを年間4回設け（1月末、4月末、7月末、10月末）、会員診断士紹介の新規登録、情報の更新を行っていきます。

■協会パンフレットの見直し

現行の協会パンフレットを作成してから時間が経過し、内容が実態と合っていないこと、事業開発活動や他士業との連携が活発となり、診断士協会をPRするモノが必要であることから協会パンフレットのリニューアルを行っていきます。

引き続き、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

委員会報告

総務委員会

委員長 岡田 正博

総務委員会は、昨年度は特定の理事が単独で業務をこなして委員会としての活動をおろそかにしていました。やはり委員会という組織として、協会活動を支援していくことが重要であり、今年度はこの点に留意していきたいと考えています。

総務委員会の活動は毎年ほぼ定期的に決まっており、主に社員総会の運営、新春講演会の運営のほか、理論政策更新研修の当日の受付や懇親会設営を行っています。これだけですと大した仕事もなくまったく面白くないように思えるかもしれませんが、そうは言っても重要な業務です。

現在のメンバーは、私と土田事務局長、樋口理事のほか、金井信雄会員、熊木理会員、小林真一会員、斎藤昭会員です。ここを読んで「え、オレ総務委員会だったっけ?」と思われた方は、はい、総務委員会ですのでよろしくお願ひします。

総務委員会について話すことはこれくらいしかないのですが、どれでもいいので委員会に所属することは非常にいいことだと思います。診断士協会の定例行事はそんなに多くありません。毎年退会する人もいますが、中には「入会しているメリットがない」と言う人もいます。経済的メリットまで求めている人はいないと思いますが、メリットデメリットで語るものではなく、同じ診断士仲間と交流することで改めているような勉強ができるということはメリットと言えるでしょう。ところが、「協会に入会したら、自分から何も動かなくても一方的にお誘いが来て、人脈が広がる」ということはありません。やはり委員会や研究会などに参加することで人脈が広がっていきます。入会してから最初の10年間、一切の会合に参加しなかった模範的な幽霊会員だった私が言うのですから間違いありません。ぜひ委員会活動を通じて、診断士ライフを充実させてください。

研修委員会

委員長 田村 博康



平素は、研修委員会の活動に、ご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。令和元年の活動とメンバーをご紹介します。

1. 研修委員会の活動計画

①理論政策更新研修の計画

本年度は、8月31日(第一回)、9月7日(第二回)の2回開催となります。第一回の開催を研修委員会で担当させて頂きました。本年度のテーマは「地域資源を活用した中小企業支援」とし、皆様にとって実りのある研修となるよう、計画を進めてまいりました。

②経営診断実務

主に企業内診断士を対象とした診断実務実習の企画を実行します。中越地区の企業様2社にご協力頂くことになりました。参加者の診断レベルの向上につながるように進めてまいります。

③診断士受験講座の計画と運営

本年度も中小企業診断士1次試験受験講座の開講に向け計画を進めております。一人でも多くの受講者が合格できるよう講義を進めてまいります。

④「診断士の日」講師選定

昨年に引き続き本年も11月に開催される「診断士の日」の講師選定を実施いたします。このイベントに多くのお客様からご来場頂き、有意義な時間が過ごせるように講師選定を進めてまいります。

2. メンバー(順不同、敬称略)

中村公哉、渡邊清史、浅田淳、林拓矢、竹下智之、平野康晴、阿部哲也、伊原英一、田村博康、以上の9名で活動していきます。

3. 最後に

本年度も会員の皆様に役立つ内容を企画していきます。活動に関しまして、ご意見、ご要望等がございましたら、ご連絡ください。

事業開発委員会

委員長 和栗 聖



平素は、事業開発委員会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。事業開発委員長の和栗と申します。

今回は紙面をお借りして、事業開発委員会の活動と委員会メンバーの紹介をさせていただきます。

事業開発委員会は、主に以下の事業に取り組んでいます。

- ① 公的機関や金融機関の皆様と連携を図りながら、様々なセミナーや事業の企画立案、受託、運営を実施。
- ② 経営革新等支援機関として経営改善計画策定事業の実施
- ③ 協会主催事業の外部機関への広報、集客活動
これら事業活動を通して、協会会員同士の交流やスキルアップが図られる機会を提供しております。

現在、事業開発委員会は8名の協会会員が所属をして、上記活動に取り組んでおります。

【委員会所属会員の一部】

- ・小山直久会員 ・白倉雅晴会員 ・平野康晴会員
- ・山崎寛和会員 ・渡邊重仁会員

事業開発委員会では随時、委員会のメンバーを募集しております。委員会の活動にご興味がある方は、お試して参加でも構いませんので、ご連絡をお待ちしております。

また、新潟県診断士協会にセミナー講師の依頼や経営改善計画などのご相談についても随時受け付けております。お気軽にご相談ください。

よろしく願いいたします。

広報委員会

委員長 佐野 盛也



いつも大変お世話になっております。広報委員会の佐野です。日頃より広報委員会の活動にご協力頂き、誠にありがとうございます。早速ですが、令和元年度の活動方針・活動内容についてご報告申し上げます。

上げます。

活動方針につきましては、今まで通り、「1. 外部関係者に対し、協会活動並びに協会会員の情報発信を進めることにより、中小企業診断士の認知度向上を図る」、「2. 協会会員に対し、協会活動の他、診断士活動に関する有益な情報を提供することにより、協会会員の資質向上に寄与する」の2点としております。

また、重点的に行う活動としましては、以下を予定しております。

- ・会報の内容の充実
- ・ホームページによる情報発信の強化
- ・プレス活用による情報発信
- ・会員名簿のリニューアル（HP・紙媒体）
- ・診断士の日のイベント開催
- ・協会パンフレットの見直し

※詳細につきましては、前掲の「広報活動の取組について」をご覧くださいませと幸いです。

広報委員会では、中小企業診断士の認知度向上に繋がる外部広報を行うと共に、会員個人のパーソナリティーにスポットを当てた企画を考え、紙面等を通して会員同士の理解が深まる取組も進めたいと考えております。

令和元年度は、井村吉孝会員、小林和之会員、長谷川貴一会員、山崎寛和会員、諸橋甚太郎会員 佐野盛也の計6名で広報委員会活動を行って参ります。引き続き、ご協力のほど宜しく願い申し上げます。

研究会報告

研究会・同好会規程の制定について

事務局長 土田 克則

今年の3月の理事会で、研究会規程、同好会規程が制定されました。これまで研究会の位置づけが不明でしたが、明確になりました。今後は、協会公認の研究会として、基本的に自由に活動できるようになります。

(そうはいつても、理事会への報告義務はありますので、協会として不適切な活動はできませんが。) 今まで、協会から配賦される予算(例年3万円)の範囲内で運営することが一般的となっていたため、「会費を徴収していいのかわからない」「会費がないため、幽霊会員が増え続ける」といった問題が起こっていましたが、そのような問題は解消されるかと思われます。また、時々話題に上る同好会についても、この機会に規程を制定しました。

会員の皆様には、是非、研究会・同好会をたくさん設立して、協会を活性化していただければと思っています。詳細は、規程をご覧ください。

企業再生支援研究会

代表 上村 修



今年度、企業再生支援研究会の代表に就任しました上村修です。よろしくお願ひします。

当研究会の目的は、定期的に開催する研究会を通じて、企業再生支援に関する知識習得やスキルアップを図ることと、会員間の積極的な情報交換やコミュニケーションを通じて人的ネットワークを拡大し強化することにあります。

H15年度に「リレバン」がスタートしてから約16年経過し、企業再生支援は定着してきましたが、経営改善を必要とする中小企業者は、依然として多数あり、企業再生支援の重要性は増しています。

また、企業再生支援スキルは、経営改善のみならず、

創業、経営革新、事業承継など様々な企業のライフステージで活かせるスキルです。

更には、金融機関における事業性評価への活用など、プロコンの皆様のみならず、企業内診断士の皆様にも非常に重要なスキルとなっています。

今年度は、研究会の開催を3回計画しており、回毎に様々なテーマを設定して、実務的に役立ち、総合的に企業再生支援スキルが向上できるようなカリキュラムを予定しています。

研究会の後には、会員同士の交流をより深めるために懇親会を開催して、研究会を盛り上げていきます。

【開催スケジュール】

- ・第1回日程：令和元年9月27日(金)

テーマ：「公的支援機関との連携による企業再生支援の実践」

講師：新潟県中小企業再生支援協議会

統括責任者 田中 満 様 他

- ・第2回日程：令和元年11月8日(金) 予定

テーマ：「要因別資金繰り表を学ぶ」

講師：北越銀行

元取締役審査部長 田中 昭 様

- ・第3回日程：令和2年1月～2月 予定

テーマ：業種別、課題別の再生手法研究(仮)

講師：未定

【会員メンバー(敬称略・掲載承諾者のみ掲載)】

阿部 哲也	田村 昌美
江部 誠一	土田 克則
太田 竜	土田 正憲
上村 修	中村 公哉
小林 和之	長谷川 伸一
近藤 信	平塚 幸雄
佐野 盛也	平野 康晴
白倉 雅晴	山崎 勝雄
齋田 陽子	和栗 聖
辰喜 太輔	渡邊 重仁
田中 智行	(全会員数 22名)

事業承継研究会

代表 土田 正憲

事業承継研究会は、事業承継支援における中小企業診断士のコンサルティングスキルの向上と職域の開拓を目指すことを目的として、平成 25 年に設立されました。今年度、研究会の規約が制定されたことにもない新たなメンバーでスタートしました。

令和元年度の活動方針は、以下のとおりです。

1. 研究会会員と外部講師による発表を主とした研究会を通じて事業承継支援について学び、コンサルティングスキルの向上と職域の拡大を図る
2. 研究会を 2 回開催する
3. 理論政策更新研修にて講座を担当する
4. 継続的に会員拡大を図る

9 月 7 日（土）、長岡商工会議所において、理論政策更新研修（法定研修）を、事業承継研究会が企画、運営しました。研究会がこの研修を企画、運営することは新潟県協会としては初めての試みであり、また、例年開催される新潟会場とあわせて同年度に 2 回開催することも初めてです。当日は以下の内容で実施しました。

テーマ 1：新しい中小企業政策について

「新潟県が実施する中小企業の事業承継支援施策について」

（講師） 畠山満 氏

新潟県事業承継ネットワーク 事務局長

テーマ 2：中小企業の事業承継支援

「事業承継事例

～なぜ、私は 46 歳で事業譲渡したのか～」

（講師） 土田克則 氏

（株）にいがた事業承継サポート室 取締役

中小企業診断士

テーマ 3：中小企業の事業承継支援

「事業承継税制とその事例」

（講師） 高野裕 氏

（株）パートナーズプロジェクト 代表取締役
中小企業診断士 税理士

当研究会ではメンバーを募集しています。入会を希望される方は、わたくし、土田

（m. tsuchida@ccnslt.com）までご連絡ください。

○ 研究会メンバー

鎌田晃博、白倉雅晴、平野康晴、渡辺 謙
山崎勝雄、武藤勝行、和栗 聖、井上 芳
井村吉孝、田中智行、山崎寛和、小林和之
齋田陽子、銀山敏行、伊原英一、田村昌美
高橋 清、辰喜太輔、太田 竜、阿部哲也
佐野盛也、樋口圭治、土田克則、土田正憲

診断士になりたい人を支援する会（同好会）

代表 土田 克則

昨年度、研究会として発足した「診断士になりたい人を支援する研究会」ですが、今年度、協会第一号の同好会となりました。協会からの補助は無くなりましたが、中身は変わっておりません。当会は、中小企業診断士を目指す人たちの接点の場、その人達と協会に所属する現役診断士との接点の場を提供することを主な目的として、一人でも多くの人が、中小企業診断士試験に合格できるように支援していきます。接点の場の提供が目的と言っても「飲み会」だけでは格好がつかみませんので、「情報交換会」や「2 次試験問題の解き方を研究する会」が表向きの活動になります。これまで、「2 次試験問題の解き方を研究する会」は 4 回開催し、事例 I～事例 IV まで一通り研究しました。実際に過去問を解いて、参加者で議論して正解（合格レベルの正解）を導く、という形式を取っています。模範解答が存在しない試験だけに、合格したことがあるはずの現役診断士が、もっともらしい解き方、定石、テクニックを好き勝手に主張し、毎回、珍解答あり、迷解答ありの（名解答もまれにある）、楽しい回になっ

ています。(もちろん、合格レベルくらいの解答は作っていますのでご安心ください)

今後、次の日程で開催を予定しています。

○9月21日(土)PM

「2次試験問題の解き方を研究する会」

○10月5日(土)PM

「2次試験問題の解き方を研究する会」

その後も「情報交換会」、「試験問題の解き方を研究する会」、「単なる飲み会」を継続的に開催する予定にしております。メンバーは随時募集しております。次のような方は向いていると思いますので、興味のある方はご連絡ください。

○診断士の受験生を応援したい方

○(試験)勉強が好きの方

○ボランティア好きの方

○お酒を飲むことが好きな方

○中小企業診断士試験に合格したことがある方

また、支援を受ける側の人も随時募集しておりますので、皆様の周りに次のような方がいましたら、この同好会を周知していただけますようお願いいたします。

○中小企業診断士試験を受験中の方

○中小企業診断士試験の受験を考えている方

○中小企業診断士の資格について知りたい方

○中小企業診断士の活動について知りたい方

○中小企業診断士と関わりを持ちたい方

以下、会のメンバーです。

土田克則、土田正憲、佐野盛也、小山直久
内藤光輝、鎌田晃博、平野康晴、白倉雅晴、
岡田正博、斎田陽子、小林正和、樋口圭治、
小林和之、和栗聖

以上、よろしくお願ひいたします。

青年部会

会長 長谷川 貴一



いつも大変お世話になって
います。青年部会の長谷川です。

青年部会は、会員相互の交流
や情報交換を目的として、定期
的に勉強会や会合を行ってい
ます。

本年度の青年部会の活動計
画や取り組んでいくことについてご紹介します。

1点目は昨年と同様、定期的な勉強会や会合を実施することです。昨年度は青年部会に所属している会員の方が講師となり、何度か勉強会を開催しました。今年度も同様に青年部会会員の方が講師となり勉強会を開催します。その他、診断士協会に所属していない外部講師を招待して、普段の生活の中では学べない分野に関しての勉強会も開催する予定です。また、会議室以外での勉強会も本年度は開催したいと考えています。具体的な計画はこれからですが、製造業の製造現場を見学したり、企業訪問をしたりなど、座学では学べない体験型の勉強会も企画する予定です。

現在、青年部会に所属されていない方もご興味がある方にはご案内させていただきますので、ぜひご連絡いただければと思います。

2点目は協会員向けセミナーの企画・実施です。こちらは、青年部会員だけでなく協会員の皆様が対象のセミナーとなりますが、本年5月に開催された定時社員総会と同じ日に既にセミナーを実施させていただきました。協会員の渡邊重仁先生に講師をしていただき、消費税軽減税率制度について話しをしていただきましたが、多くの会員の方にご出席いただき会場はほぼ満席となりました。講師をしていただいた渡邊先生、ご参加いただきました会員の皆様大変ありがとうございました。その他、本年度に計画をしている協会員向けセミナーはありませんが、必要に応じて青年部会で企画を行いセミナー開

新入会員紹介

催もしていきたいと思います。

本年度初め時点での青年部会員の方をご紹介します。青年部会員の方は以下の方々です。

【青年部会員の紹介】

阿部 哲也	鎌田 晃博	小林 和之
小林 正和	小山 直久	齋田 陽子
佐野 盛也	土田 克則	土田 正憲
内藤 光輝	長尾 彰久	樋口 圭治
平野 康晴	益田 浩	諸橋 甚太郎
山崎 寛和	和栗 聖	

(敬称略、五十音順)

青年部会では今後も部会員を募集していますので、ご興味のある方はお気軽にご連絡いただければと思います。

小林 和之



はじめまして、この度入会しました小林和之と申します。新潟市(旧亀田町)出身・在住の中小企業診断士です。前職では法人営業等に携わり、2018年12月に独立・開業しました。独立後は色々と大変ですが、充実した日々を過ご

ています。

現在の事業内容は、新潟県内の企業に対して「事業計画策定」を支援しています。事業計画を作っている中小企業は少ないと思いますが、資金調達(借入や補助金に必要)の際に必要なに迫られて作ることもあるのではないのでしょうか。そんな時に、作成～作成後の活用まで、支援しています。また、ただ事業計画を作っただけではなく、その後どのように活かすかを心掛けてきました。実際に資金調達に成功した企業の代表者様や担当者様より、感謝の言葉を直接頂けることが何よりの励みです。さらに中小企業様のお役に立てるよう、日々精進していきます。

さて最近「ストレングスファインダー」(自らの強みの元となる資質が導き出され、チームビルディング等で活用される)を受ける機会がありました。その診断結果から、私の性格が少しでもお伝えできればと思い、その結果を記載します。

①最上志向②着想③学習欲④共感性⑤内省

(詳細はウェブ上でご確認ください)

自分をより良くしようと努力し、結果よりもプロセスを重視することに喜びを感じる資質のようです。これがコンサルタントとして、良い結果に結び付きやすいのか?自ら日々検証していきます。もし受講した方がいらっしゃれば、皆様の資質も教えていただけませんか。

それでは今後ともよろしく願いいたします。

私のこだわり

阿部 哲也



私は地域金融機関に勤めて11年経ちますが、そのほとんどを営業職として過ごしてきました。その中で多くの社長様達と他愛のないお話しも含めてたくさんのお話を語り合

ってきました。そんな私のこだわりは「お客様に薦められたことはやってみる」ということです。

正直巻き込まれたら面倒だな、というものの中にはあります。それでもとりあえず試してみようと思えます。仕事上、お客様の申し出を断るのは気が引ける、という部分もちろんあります。ただ、単純に自分にはない価値観の話には乗ってみて損はないと考えるからです。やってみて嫌なら辞めれば良いのです。

お薦めの本や映画を読む、観てみるのはもちろんのこと。ゴルフ、キャンプ、菊作り、農家の田植え、労働組合役員（無給・夜間土日作業あり）、3日間20万円の自己啓発セミナー（4～5時間かかる宿題付き）などなど。他にもたくさんありましたが、忘れました。

継続しているものも、あっさり辞めたものもあるわけですが、当初は嫌悪感すらあったキャンプについては、薦めてもらって心から感謝。先日は新潟→仙台市→青森県大間岬→函館→旭川→宗谷岬（本土最北端）まで5泊6日のキャンプの旅をしました。大自然の中で飲むビールは至福です。

お陰様で多くの予期せぬ経験が出来て、それが仕事上での引き出しに繋がっています（というか、繋がっていることにします）。自分の仕事や趣味の世界だけでは出会えなかったことがほとんどであり、今となっては感謝です。

そんなわけで、テーマとは裏腹に、あまり物事にこだわりがない私の姿勢について述べてしまいましたが、全ての経験が「自分に関わった方へひとつでも貢献する」という私の理念実現に繋がるものとして、良しとしようと思えます。

渡辺 謙



60歳の手習いで水彩画を始めました。暫く経ちますが下手の横好きで、一向に上手くなりません。3次元、4次元を2次元に書き出すのでそれなりの基本的な技法が必要になります。

遠近法がその一つです。消失点に向かって全ての線が束になって吸い込まれる。これくらいは知っていましたが、空気遠近法は知ってなるほどと感心しました。遠くに行くほどぼやけて青くなる。言われて観察してみるとその通りです。木の幹を茶色に塗るとそんな木はない。同じ木でも遠くに行けば青味がかってきます。

もう一つは光と影です。かげには影と陰がありますが表現が長くなりますので割愛します。この二つで三次元を表現しますが、難しい。思ったように手は動いてくれないし、色も出ない。透明水彩は基本的に黒と白は使わない。白は水でコントロールする。黒は赤、青、黄を混ぜる。この水のコントロールに泣かされる。乾かないうちに色を重ねると暗くて、汚い色になってしまう。これらの基本が出来るようになると、絵が落ち着いてくるのだそうですが腕が追いつきません。

最後の一つは技法ではありませんが何を書くのかを明確にする事と、どこ迄描くのかを見極めることです。何を描くのかは明確なのですが、どこまで描くかは非常に難しい。描きすぎると何を描くのかボヤケテしまう。描き足りないとこれも中途半端になってしまう。とにかく技法をマスターしようと心掛けている。診断士の仕事も絵を書くことに通じていると思う。基本に忠実になり、全体を構想し細部を設計していく。時々キャンバスを眺めて修正する。こんな事にこだわって仕事に活かして行きたい。

会員の書棚

山崎 寛和



今回私をご紹介しますのは、「日本進化論」(落合陽一著・S B 新書)です。本書は、新進気鋭のメディアアーティストである落合陽一氏と政治家の小泉進次郎氏の共同企画で開催された動画番組

での議論がきっかけとなって出版されたものです。

議論の内容は、今の日本が抱える社会課題である「働き方」「高齢化社会」「子育て」「教育」「財政」「スポーツ」といったテーマで、それぞれの現状分析と課題解決の方向性が示されています。

本書のベースとなるキーワードとして「ポリテック」(Pol i Tech)という概念が登場します。ポリテックとは、政治(Pol i t i c s)とテクノロジー(Technology)を組み合わせた造語で、「テクノロジーによって何が可能になるか」といった観点を、政治の議論の中に取り入れていくことです。

ポリテックの具体的事例として、高齢者ドライバーの事故増加の問題が取り上げられています。この問題に対しては、解決のための3つのアプローチが提示されています。1つ目は「ドライバー監視技術」で、ドライバーの顔を常時カメラで監視してドライバーの状態を検出し、危険運転を防止するというものです。2つ目は「自動運転技術」です。現在、自動運転は限定された条件のもとでなら全ての運転が自動化される段階にまで到達しており、今後の市場化が期待されています。3つ目は「コンパクトシティ化」で、これは都市そのものを自動車が必要な形態に変えるという政治アプローチです。

このように現代日本の社会課題を解決するためのヒントが多く盛り込まれており、診断士として外部環境分析をする上でも参考になる1冊ですので、よろしければご一読ください。

中俣 誠



私が紹介する本は、「生きている会社、死んでいる会社」(遠藤功著)です。欧州最大の経営コンサルタント会社「ローランド・ベルガー」日本法人で会長を務める著者の30年のコンサルタント歴の集大成といえる

著書です。著者は、会社は生き物であり、経営において本質的に大事なことは、会社が「生きている」ことだと説いています。

本書では、20社を超える「生きている会社」の事例に加えて、ネガティブな事例も紹介されており、「死んでいる会社」を蘇生させる処方箋を紹介しています。そのなかで重要なポイントとなるのが「新陳代謝」と指摘しています。一般的に私たちは企業経営のイノベーター的な側面に注目しがちですが、会社は生きものであり全ての会社で「老化」は避けられません。したがって、活性化された状態を保つには「新陳代謝」を繰り返すしかありません。会社にとっての新陳代謝とは、すなわち「捨てる」「やめる」「入れ替える」ことであり、その新陳代謝の対象は、「事業」「業務」「組織」「人」だと論じています。また、会社が長期間存続し発展し続けるには、独自の価値を連続的・継続的に「創造」し続けなければならないと、さらに、一部の人がそれに挑戦するのではなく、挑戦する気概を「会社の文化」にまで高めなければ「生きている会社」にはなれないと論じています。

良い会社、悪い会社の定義は世の中に数多くありますが、それを人間の「生き死に」に例えた論理展開はリアルでわかりやすく、会社経営の本質を見事にとらえています。経営改善の現場ではとかく新しい提案(足し算)ばかりを志向しがちですが、新しいものを加えるには、いらなくなった老廃物を捨てること(引き算)がいかに不可欠であるかを改めて認識させられました。

広報委員会より

「中小企業経営シンポジウム in 新潟」開催案内

新潟県中小企業診断士協会では、令和元年11月13日(水)に中小企業経営者、支援機関向けに、中小企業経営に役立つイベントとして「中小企業経営シンポジウム in 新潟」を下記内容にて開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

<開催内容>

■基調講演 14:05~15:35

○講師

金井政明氏

株式会社良品計画 代表取締役会長

○テーマ

『MUJIが生まれる「思考」と「言葉」 ～幸せな経済に向かって～』

■分科会1 15:45~16:30

○講師

上村修会員

エビス・コンサルティング代表/当協会企業再生支援研究会代表/中小企業診断士

○テーマ

「なぜ、経営改善は進まないのか? ～売上偏重、どんぶり勘定からの脱却～」

■分科会2 15:45~16:30

○講師

今井進太郎会員

グローバルマーケティング株式会社 代表取締役
中小企業診断士

○テーマ

「マーケティングで中小企業の売上アップを実現する」

■分科会3 15:45~16:30

○講師

平野康晴会員

ひらの経営支援事務所代表/当協会事業承継研究会会員/中小企業診断士

○テーマ

「これだけは押さえておこう! 事業承継成功の秘訣」

■参加費

無料

■会場

朱鷺メッセ (新潟コンベンションセンター)

■申込締切

令和元年11月1日(金)

■お問い合わせ先

一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

事務局長 土田克則

TEL: 025-378-4021

クリップボード

◆令和元年11月13日(水)

～中小企業診断士の日開催イベント～

中小企業経営シンポジウム in 新潟

場所: 朱鷺メッセ

時間: 14:00~16:30

◆令和元年11月15日(金)

12の専門家による無料相談会

場所: 朱鷺メッセ3F 中会議室(302)

時間: 10:00~18:45

編集後記

広報委員会

佐野盛也

広報誌の執筆にご協力を頂きました皆様、広報誌の発行のため、校閲・編集作業にご尽力頂きました広報委員会の皆様、本当にありがとうございました。おかげさまで無事に「SOUP LETTER 第21号」を発行することができました。

皆様から頂戴した原稿を拝見すると、いつも新たな発見があります。「自分にはない価値観をまずは受け入れてみるという生き方」、「水彩画と診断士業務との類似点と大切なこと」、「日本の社会問題の解決策をポリテックという概念で考えるという視点」、「会社は生き物であり、新陳代謝とそれに伴う引き算の考えが経営改善の場で必要であること」など、まさしく自分にはない価値観に触れ、今まで持っていなかった視点の発見がありました。

これからも広報誌を新しい発見のある場、寄稿して頂いた皆様の人柄に触れる場にしていけたらと考えています。

今後とも広報誌へのご協力のほどよろしく願い申し上げます。

全科目・科目別受講受付中！

科目別受講は開講日の1週間前まで申込可能

中小企業診断士 1次試験対策講座

今年も10月より開講！

- 新潟県内で唯一のライブ授業！
- インプットを中心に答案練習も充実
- 現役診断士による独自カリキュラム！



当協会主催の2020年合格目標の中小企業診断士1次試験対策講座を実施いたします。
当協会所属の現役診断士が講師となり、協会オリジナルレジュメによる、新潟県内では唯一のライブ授業！受講料もリーズナブルな設定で、皆様を合格へと最短で導きます。
初めて受験をする方はもちろん、受験経験者の方もこの機会にぜひ当講座で合格を勝ち取りましょう！
※科目別受講の申し込みも可能です。

■開催日程

2019/10/13(日)～開講

■場所

新潟テルサ：新潟市中央区鐘木 185-18

■講義内容

1次試験全7科目（財務・会計、企業経営理論、運営管理、経済学・経済政策、経営情報システム、経営法務、中小企業経営・中小企業政策）の講義および答案練習

■使用教材

オリジナルレジュメ、その他協会推薦図書

■受講料

全科目 160,000円（税別）

科目別 24,000円（税別）／1科目

※ 参考図書として1科目3,000円程度の書籍を別途ご購入いただけます

■申込方法

当協会ホームページをご覧ください。

<http://www.n-smeca.jp/>

■申込締切

全科目：2019年9月30日（月）

科目別：開講日の1週間前まで

《問合せ先》

一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

事務局担当 松田・浅田 (TEL 025-378-4021)

■講座日程

No	開講日	科目
1	10月13日	財務・会計①
2	10月20日	財務・会計②
3	11月3日	財務・会計③、答案練習
4	11月24日	企業経営理論①
5	12月1日	企業経営理論②、答案練習
6	12月15日	企業経営理論③
7	12月22日	企業経営理論④、答案練習
8	1月12日	運営管理①
9	1月26日	運営管理②
10	2月9日	運営管理③
11	2月23日	運営管理④、答案練習
12	3月1日	経済学・経済政策①
13	3月22日	経済学・経済政策②、答案練習
14	3月29日	経営情報システム①
15	4月12日	経営情報システム②、答案練習
16	4月26日	経営法務①
17	5月10日	経営法務②、答案練習
18	5月24日	中小企業経営・中小企業政策①
19	5月31日	中小企業経営・中小企業政策②、答案練習

※ 時間はいずれも10:00～16:00となります。

10/13のみ16:30まで